

宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）

## 要求水準等達成チェックシート

○ 標準未満では無いことのチェックシート

1. 全体事業方針（1-1 本事業等の全体方針、1-2 9個別事業ごとの現状分析、課題整理及び対応策）

提案項目		記載上の留意事項	Aコンソーシアム		Bコンソーシアム		Cコンソーシアム	
			記載有無	記載箇所	記載有無	記載箇所	記載有無	記載箇所
1 ・ 全体事業方針 (10点)	1-1 本事業等の全体方針 (7点)	①20年間にわたる3事業一体運営の全体方針	○	pp.1-2	○	p.1全体の記載、pp.5-8	○	p.4全体の記載、pp.7-8
			○	p.3下段の記載ほか	○	p.6全体の記載	○	pp.6-8
			○	p.4中段の記載ほか	○	p.8下段の記載	○	p.8下段の記載
			○	p.2上段の記載ほか	○	p.4全体の記載ほか	○	p.4全体の記載ほか
	<b>チェックの結果</b>		・記載上の留意事項は網羅されている。		・記載上の留意事項は網羅されている。		・記載上の留意事項は網羅されている。	
1-2 9個別事業ごとの現状分析、課題整理及び対応策 (3点)	①本事業等に対する現状分析、課題整理及び対応策	○	pp.7-11 (表1-2-1から表1-2-13)	○	pp.11-14 (図表1-2-12から図表1-2-21)	○	p.10、pp.12-15 (図1-2-1、表1-2-2、表1-2-11)	
		<b>チェックの結果</b>		・記載上の留意事項は網羅されている。		・記載上の留意事項は網羅されている。		・記載上の留意事項は網羅されている。

○ 標準未満では無いことのチェックシート

2. 事業実施体制（2-2 9個別事業の遂行能力、2-3 人員確保の確実性）

提案項目		記載上の留意事項	Aコンソーシアム		Bコンソーシアム		Cコンソーシアム		
			記載有無	記載箇所	記載有無	記載箇所	記載有無	記載箇所	
2 - 2  9 個 別 事 業 の 遂 行 能 力 ( 3 点 )	①9個別事業の事業実施体制 ②業務責任者の専門的能力及び資格 ③協力会社との協業体制	①運営管理に従事する者の実績として、9個別事業ごとに各1件記載すること。	○	p.16 (表2-2-5)	○	[添付資料-1]-1	○	p.20 (表2-2-3、表2-2-4)	
		①運営管理に従事するコンソーシアム構成員又は協力会社の運営管理業務の実績については、実績を証明するために必要な資料（仕様書、契約書及び履行が完了したことを示す資料を含むが、これらに限らない）を添付することとし、当該添付資料については頁数制限に含まない。なお、日本以外の国又は地域の実績を記載する場合には、当該添付資料については原文書、日本語訳及び当該日本語訳が原文書の忠実な翻訳であることの証明（第三者が発行したものに限り）を含めること。			※正本に添付資料あり		※正本に添付資料あり		※正本に添付資料あり
		②業務責任者の専門的能力及び資格については、内容を証明するために必要な資料を添付することとし、当該添付資料については頁数制限に含まない。			※正本に添付資料あり		※正本に添付資料あり		※正本に添付資料あり
		③運営管理業務を委託等する場合には、受託者、請負者及びそれらの再委託先又は下請負先との協業体制及び各社の実績を本提案項目に記載すること。	○	p.14 (図2-2-1) 及びp.16 (表2-2-6)	○	pp.17-19 (図表2-2-2から図表2-2-22)	○	pp.19-20 (図2-2-3、図2-2-4、表2-2-3、表2-2-4)	
		<b>チェックの結果</b>	・記載上の留意事項は網羅されている。		・記載上の留意事項は網羅されている。		・記載上の留意事項は網羅されている。		
2 - 3 人 員 確 保 の 確 実 性 ( 3 点 )	①9個別事業の人員確保のための計画	①応募者が必要と考える人員を本事業等開始日までに確保する方法について、時系列に沿って具体的に記載すること。なお、県から運営権者への派遣職員については、人員確保のための計画に含まない。	○	p.17全体の記載 (表2-3-1)	○	pp.20-21全体の記載 (図表2-3-3)	○	p.22 (表2-3-1) 及びp.22 全体の記載	
		<b>チェックの結果</b>	・本事業等の実施のための人員確保の確実性を確認できる計画が記載されている。 ・事業の運営に必要な人員の確保に関する目標が設定されている。		・本事業等の実施のための人員確保の確実性を確認できる計画が記載されている。 ・事業の運営に必要な人員の確保に関する目標が設定されている。		・本事業等の実施のための人員確保の確実性を確認できる計画が記載されている。 ・事業の運営に必要な人員の確保に関する目標が設定されている。		

○ 標準未満では無いことのチェックシート

2. 事業実施体制（2-4 応募企業又はコンソーシアム構成員の実績）

提案項目		記載上の留意事項	Aコンソーシアム	Bコンソーシアム	Cコンソーシアム	
記載必須項目			記載箇所	記載箇所	記載箇所	
2・事業実施体制（11点）	①上水道事業の実績	施設名	〇〇浄水場	〇〇浄水場	〇〇浄水場	
		契約期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日（5ヶ年）	平成24年12月1日～平成28年3月31日（3ヶ年4ヶ月）	平成28年4月1日～平成31年3月31日（3ヶ年）	
		処理能力	279,000 m <sup>3</sup> /日	344,300 m <sup>3</sup> /日	200,000 m <sup>3</sup> /日	
		処理実績	（日最大）	日最大 212,420 m <sup>3</sup> /日	日最大 232,900 m <sup>3</sup> /日	日最大 232,600 m <sup>3</sup> /日
			（日平均）	日平均 186,416 m <sup>3</sup> /日	日平均 197,959 m <sup>3</sup> /日	日平均 217,900 m <sup>3</sup> /日
		実施場所（国名・地域名）	日本・〇〇県	日本・〇〇県	日本・〇〇県	
		処理方式	凝集沈殿・急速ろ過	凝集沈殿・急速ろ過	凝集沈殿・急速ろ過	
		発注者	〇〇県	〇〇県	〇〇株式会社※	
		受注者	構成員E	構成員H	構成員I	
		事業への参加形態	元請（単独）	元請（単独）	元請（単独） （※第三セクターからの請負であるが、「元請」として取扱う）	
	その他実績	ほか1件（工水）	ほか1件（上水）	ほか1件（上水）		
	②下水道事業の実績	施設名	〇〇流域下水道施設	〇〇処理場 （a浄化センター、b浄化センター、c浄化センター）	〇〇水再生センター	
		契約期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日（5ヶ年）	平成29年4月1日～令和2年3月31日（3ヶ年） 平成26年4月1日～平成29年3月31日（3ヶ年）	2015年4月1日～2018年3月31日（3ヶ年）	
		処理能力	125,000 m <sup>3</sup> /日	a浄化センター 126,000 m <sup>3</sup> /日 b浄化センター 34,000 m <sup>3</sup> /日 c浄化センター 146,000 m <sup>3</sup> /日	晴天時日最大159,300 m <sup>3</sup> /日 雨天時時間最大260,640 m <sup>3</sup> /日	
		処理実績	（日最大）	125,000 m <sup>3</sup> /日	a浄化センター 116,910 m <sup>3</sup> /日 b浄化センター 21,700 m <sup>3</sup> /日 c浄化センター 139,840 m <sup>3</sup> /日	488,387 m <sup>3</sup> /日
			（日平均）	86,600 m <sup>3</sup> /日	a浄化センター 77,660 m <sup>3</sup> /日 b浄化センター 17,520 m <sup>3</sup> /日 c浄化センター 70,720 m <sup>3</sup> /日	164,288 m <sup>3</sup> /日
		実施場所（国名・地域名）	日本・〇〇県	日本・〇〇県	日本・〇〇県	
		処理方式	標準活性汚泥法	標準活性汚泥法	標準活性汚泥法	
		発注者	〇〇県	〇〇市	〇〇市	
		受注者	構成員D	構成員D	構成員I	
事業への参加形態		元請（単独）	元請（単独）	元請（単独）		
その他実績	-	-	-			
<b>チェックの結果</b>		・上水道事業、下水道事業共に、募集要項に定められる実績要件を満たす。 ・上水道事業の実績では「優」の評価基準を満たす。	・上水道事業、下水道事業共に、募集要項に定められる実績要件を満たす。 ・上水道事業の実績では「優」の評価基準を満たす。	・上水道事業、下水道事業共に、募集要項に定められる実績要件を満たす。 ・上水道事業の実績では「優」の評価基準を満たす。		

○ 標準未満では無いことのチェックシート

7.セルフモニタリング（7-1 セルフモニタリングの体制等、7-2 情報公開）

提案項目		記載上の留意事項	Aコンソーシアム		Bコンソーシアム		Cコンソーシアム	
記載必須項目	記載有無		記載箇所	記載有無	記載箇所	記載有無	記載箇所	
7 点 セ ル フ モ ニ タ リ ン グ の 体 制 等 ( 5 点 )	①セルフモニタリングの方針、体制及び方法	①提案にあたっては、モニタリング基本計画の内容を踏まえて記載すること。	○	pp.71-75（全体にわたって記載）	○	pp.74-78（全体にわたって記載）	○	pp.78-82（全体にわたって記載）
		①以下を記載すること。 ・セルフモニタリングの方針 ・セルフモニタリングの体制※ ・セルフモニタリングの主な具体的項目と達成基準及びその選定根拠※ ・主な具体的項目ごとのセルフモニタリングを行う頻度※ ・セルフモニタリング結果を業務改善に役立てるための方法 ・セルフモニタリング手法の見直しの検討の頻度 ※については、上水・工水・下水に分けて記載すること。	○	pp.71-75（各項目が全体にわたって記載されている）	○	pp.74-78（各項目が全体にわたって記載されている）	○	pp.78-82（各項目が全体にわたって記載されている）
	<b>チェックの結果</b>	・記載上の留意事項は網羅されている。		・記載上の留意事項は網羅されている。		・記載上の留意事項は網羅されている。		
7 点 情 報 公 開 ( 3 点 )	①セルフモニタリング結果等の情報公開の方法及び内容	①セルフモニタリング結果等の情報公開に係る方針、情報公開の方法、公開する情報、情報の更新の頻度を記載すること。	○	pp.76-77（表7-2-1、表7-2-2）	○	pp.79-80（図表7-2-1ほか）	○	pp.84-85（表7-2-1、表7-2-2）
		<b>チェックの結果</b>	・記載上の留意事項は網羅されている。		・記載上の留意事項は網羅されている。		・記載上の留意事項は網羅されている。	

○ 標準未満では無いことのチェックシート

8. 危機管理（8-1 災害時における対応、8-2 事故時における対応、8-3 保安対策）

○：記載あり、×：記載なし

提案項目		記載上の留意事項	Aコンソーシアム		Bコンソーシアム		Cコンソーシアム	
			記載有無	記載箇所	記載有無	記載箇所	記載有無	記載箇所
8-1 災害時における対応（5点）	①地震、津波、火山噴火が発生した場合の対応手順・体制 ②大雨時の対応手順・体制	①②各災害における対応手順及び体制は、地震（上水・工水・下水）、津波（下水）、火山噴火による降灰（蔵王山を想定とすること）（上水）、大雨（下水）に分けて記載すること。	○	pp.79-80 （地震：表8-1-1） （津波：表8-1-2） （火山噴火による降灰：表8-1-3） （大雨：表8-1-4）	○	pp.82-83 （地震：図表8-1-5） （津波：図表8-1-7） （火山噴火による降灰：表8-1-8） （大雨：表8-1-9）	○	pp.87-88 （地震：表8-1-1、表8-1-2） （津波：表8-1-3、上段の記載） （火山噴火による降灰：表8-1-4、中段の記載） （大雨：表8-1-5、中段の記載）
		①地震（上水・工水）は、導水・送水・配水管の漏水等に関する監視、県への連絡及び協力体制を記載すること。	○	p.79 中段の記載（図8-1-5）	○	p.82 中段の記載（図表8-1-6）	○	p.87 下段の記載
		①②各災害における3事業間のバックアップ体制等についても記載すること。	○	p.78 下段の記載	○	p.81 中段の記載	○	p.86 中段の記載（図8-1-2）
		②溢水時の県への連絡及び支援体制についても記載すること。	○	p.80 下段の記載	○	p.83 中段の記載（図表8-1-10）	○	p.88 中下段の記載（表8-1-5、図8-1-3）
	チェックの結果	・記載上の留意事項は全て網羅されている。		・記載上の留意事項は全て網羅されている。		・記載上の留意事項は全て網羅されている。		
8-2 事故時における対応（3点）	①水質事故時の対応手順・連絡体制 ②浄水処理施設、水処理施設の事故時の対応手順・連絡体制等（設備故障等含む）	①②3事業ごとに施設特性を考慮して記載すること。	○	pp.81-82 （上水：表8-2-1、図8-2-1） （工水：表8-2-2、図8-2-1） （下水：表8-2-3、図8-2-1）	○	pp.84-86 （上水：図表8-2-2、図表8-2-1） （工水：p.85中段の記載、図8-2-1） （下水：図表8-2-4、図8-2-1）	○	pp.91-92 （上水：表8-2-1、図8-2-1、表8-2-2） （工水：表8-2-1、図8-2-1、表8-2-2） （下水：表8-2-1、図8-2-2）
		①上水・工水は、原水（毒物、油等）及び浄水（基準値超過等）の水質事故について記載すること。	○	p.81（表8-2-1、表8-2-2）	○	pp.84-85 （原水(毒物、油等)：図表8-2-2） （浄水(基準値超過等)：図表8-2-3）	○	pp.90-91（表8-2-1、図8-2-1、表8-2-2）
		①下水は、有害物質の流入等の水質事故について記載すること。	○	p.81（表8-2-3）	○	p.85（図表8-2-4）	○	p.91 下段の記載（図8-2-2、表8-2-3）
		②上水は、塩素漏洩事故について記載すること。	○	p.83 中段の記載（図8-2-3）	○	p.85（図表8-2-5）	○	p.92 下段の記載（図8-2-3）
	②上水・工水は、送水量・配水量の確保に向けた施設運用について記載すること。	○	p.83（表8-2-5）	○	p.86 下段の記載	○	p.92 上段の記載（表8-2-4）	
チェックの結果	・記載上の留意事項は全て網羅されている。		・記載上の留意事項は全て網羅されている。		・記載上の留意事項は全て網羅されている。			
8-3 保安対策（2点）	①本事業用地及び運営権設定対象施設等の保安体制	①3事業ごとに、有人施設、無人施設に分類し、施設の機能及び立地特性を考慮して記載すること。	○	p.84（表8-3-1）	○	p.87 上段の記載（表8-3-1）	○	p.94 全体の記載（表8-3-1、表8-3-2、表8-3-3）
		チェックの結果	・記載上の留意事項は全て記載されている。		・記載上の留意事項は全て記載されている。		・記載上の留意事項は全て網羅されている。	

○ 標準未満では無いことのチェックシート

9. 事業継続措置（9-2 事業継続が困難となった場合における移行方法）

○：記載あり、×：記載なし

提案項目		記載上の留意事項	Aコンソーシアム		Bコンソーシアム		Cコンソーシアム		
記載必須項目			記載有無	記載箇所	記載有無	記載箇所	記載有無	記載箇所	
9 ・ 事業 継続 措置 ( 1 6 点 )	9 - 2 に お け る 移 続 行 が 方 法 難 ( と な 点 つ た 場 合 )	①事業継続が困難となった場合の移行施策及び体制	①事業全体の移行について、具体的な手順、役割、責任分担を時系列にまとめて記載すること。	○	pp.88-89 (図9-2-2、表9-2-1)	○	p.92 (図表9-2-5)	○	pp.100-101 (図9-2-2、表9-2-1)
			①運転管理業務の移行について、具体的な手順、役割、責任分担を時系列にまとめて記載すること。	○	pp.88-89 (表9-2-2、図9-2-6)	○	p.93 (図表9-2-8)	○	p.102 (図9-2-3、表9-2-2)
			<b>チェックの結果</b>	・記載上の留意事項は全て網羅されている。		・記載上の留意事項は全て網羅されている。		・記載上の留意事項は全て網羅されている。	

○ 標準未満では無いことのチェックシート

10. 地域貢献（10-1 地域経済に対する取組、10-2 県民等の理解醸成方針・施策）

○：記載あり、×：記載なし

提案項目		記載上の留意事項	Aコンソーシアム		Bコンソーシアム		Cコンソーシアム	
			記載有無	記載箇所	記載有無	記載箇所	記載有無	記載箇所
10・地域貢献（10点）	10-1 地域経済に対する取組（7点）	①地元企業の連携・協力及び地域人材の雇用	○	p.91下段からp.92上段の記載	○	p.94（図表10-1-3、図表10-1-5）及びp.95上段の記載	○	p.104（表10-1-1）及びp.104下段からp.105上段の記載
		①3事業ごとに分けて、地元企業及び地域人材への技術の継承について記載すること。	○	p.92（表10-1-1）	○	p.95下段の記載（図表10-1-6）	○	p.105中段の記載
		<b>チェックの結果</b>	・記載上の留意事項は全て網羅されている。		・記載上の留意事項は全て網羅されている。		・記載上の留意事項は全て網羅されている。	
10・地域貢献（10点）	10-2 県民等の理解醸成方針・施策（3点）	①広報活動の施策の内容及び実施頻度を記載すること。	○	p.93（表10-2-1）	○	p.96（図表10-2-5）	○	p.106（表10-2-1、表10-2-2、表10-2-3）
		①広報活動の方針・施策	○	p.93（表10-2-1）	○	p.96（図表10-2-5）	○	p.106（表10-2-1、表10-2-2、表10-2-3）
		<b>チェックの結果</b>	・記載上の留意事項は全て網羅されている。		・記載上の留意事項は全て網羅されている。		・記載上の留意事項は全て網羅されている。	